

2011HIST WSの議論のまとめです。  
各参加者の研究室や組織で行われている  
様々なコミュニケーションの事例について  
紹介してもらったものを表にしました。

タイトル	シチュエーション	内容	きっかけ	ねらい	結果・良かった点	結果・悪かった点	今後の予定・課題 (コメント)													
研究室内掲示板*	日常の研究室(人が来る時間によって人によってパラバラ)	研究室内で2chのような掲示板を作る。		面と向かって会話ができないので、少なくとも動向くらいは共有できるようにする仕組みがほしかった			WISSってこんな感じですよね	何が書き込まれているのか気になる	全員が疑問点を共有できるのは良い	発表者が見えないのはおもしろい	気軽に発言できるのはいいと思う。B4, M2とかでは知っていることが異なるから	書き込むのに真剣になるのは仕方ないのかも								
発表世話人*	発表世話人	発表者に専属のfacilitator(世話人)を付ける。その人は次回の発表時に「おさらい」など場をコントロールする。		発表者(学生)が教授の構図に落ちることをさける。こつそり出欠を確認																
sykpe出欠確認*	学生が大学に来てからかどうかの確認	skypeのオンラインで確認		まだ、やったことはない。きつかけは単なる連絡や相談																
仕切りリス研究室*	研究室の学生の存在	研究室の中にしきりを作らない		昔はグループ等で行われていたみたいです。	研究室同士の交流を確からずとも会話も楽になる															
ファイル共有*		情報ファイルの共有																		
ポストイットでブレスト*		ポストイットにアイデアを書いて、他の人にどんどん回す(時間制限あり)																		
WBにタスクリスト*		学生がやるべきタスクをWBに全部書く																		
フアンリテーションの取り組み	会合(議論の場)	①アイスブレイク(最初にリラックスさせる) ②一人の意見に時間制限 ③ホワイトボード ④答えを出しやすい聞きかた(特に上司部下)	形だけの会合で無駄な(に)時間がたつ	生産性の高い会合の実現	会合が会食らしくなる(報告の場だけにならない)		ルールを設定しても守れない、発言できない人がいる。ルールの評価は？	細かく記述していくことはいいと思う	会議が楽しくなるのは意外											
昼食会	研究室のメンバー全員で会議室に集まり、お昼ごはんを食べる。持ちまわりで一人が発表する。	何でも、ただし、研究に関連しない事(旅行、自己紹介、シユミなど)	伝統	発表の内容に関して質問したり、コミュニケーションが深まるきっかけ	資料を作るのがなかなか大変		趣味とかを話すと後々会話も楽	指名制らしいです												
skype	先生に言いにくい内容																			
メール	先生に言いにくい内容 & 先生の手を煩わせるまでもない内容 (先生の方のスケジュールなど)																			
秘書さんに聞く	超緊急																			
twitterで連絡	結婚式の余興の準備																			
skypeでチャット	密なつながりの中での会議																			
mixi	ブレインストーミング																			
twitterで会議																				
ツールの選択方法の話								ディスカッションに階層がある階層毎に議論の段階が違ってくる	1軸目 雑談 対非雑談 2軸目 特定範囲 対 拡散 3軸目 対面 対非対面	Twitter呼吸のあう人が使うこと多め 1対1の友人関係ではなく、1対多の友人関係がベースにある	友達つきあいするときはチャット使う？ ⇒の情報をバラばくのか**	エライ人に話をするときには口頭？ -politeness メール-ロウらとれるから	話す内容によると雑談/非雑談というライン	元々の成立**との**は？あるかも？	Twitterとmixiボイスは反応度合いが違う？					



